



令和8年9月 静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場ニュース

伊豆東岸定置網における令和8年下半期の漁海況予測

令和8年下半期（7～12月）の相模湾の海況及び伊豆東岸定置網における主要魚種の大きさ・来遊量を、当场と神奈川県水産技術センターで協議して予測しました（右表）。

黒潮はN型（八丈島の北を通過し、流路の南端が北緯33度以北）基調で推移し、沿岸水温は「やや低め」から「高め」で、黒潮からの顕著な暖水波及が起きたときは「極めて高め」となると予測しました。

主要魚種の来遊量は資源状態や上半期の漁獲動向などを元に予測しています。ゴマサバの下半期漁獲量は例年100トンほどですが、資源状態が悪く、また、上半期の漁獲量も少なかったことから、今期は前年を下回ると予測しました。一方、ブリ（体重2kg未満の銘柄わかし・いなだ）は上半期の漁獲量が多かったことから、今期の来遊量は前年を上回ると予測しました。

海況	黒潮	N型基調で推移する。 9月までは一時的にB型またはC型となる。
	水温	「やや低め」から「高め」で推移し、黒潮からの顕著な暖水波及が起きたときは、「極めて高め」となる。
マアジ	大きさ	尾叉長15cm前後の0歳魚主体で、20cm以上の1歳魚以上も漁獲される。
	来遊量	前年を下回る。
ブリ	大きさ	銘柄いなだ・わかし主体。
	来遊量	前年を上回る。
マサバ	大きさ	尾叉長30cm以上主体。
	来遊量	ゴマサバに混じる程度。
ゴマサバ	大きさ	尾叉長30cm以上主体。
	来遊量	前年を下回る。
マイワシ	大きさ	0歳魚主体。
	来遊量	低調な前年並。
カタクチワシ	大きさ	成魚及び未成魚。
	来遊量	低調な前年並。

磯焼け対策活動意見交換会を開催

伊豆半島各地の漁業者等が取り組む磯焼け対策活動の効果増大等を目的に、8月23日に各地の漁業者等を集めた当场主催の意見交換会を開催しました。

意見交換会には下田市白浜と西伊豆町仁科の漁業者、伊豆漁協職員が参加し、双方の活動内容について活発な意見交換がなされました。白浜では仁科が実施する活動内容を受けて、海藻食害魚対策としてのアオリイカ産卵床設置に着手するなど、意見交換の効果が見られました。

当场では藻場の復活を目標に、引き続き各地の磯焼け対策活動を支援していきます。



左：意見交換会 右：双方の食害魚採捕漁具を比較

県民の日イベントを実施しました

8月7日、県民の日特別企画として、小学生を対象とした事前予約制の「漁業模擬体験（定置漁業とテングサ漁業）」を実施しました。

参加した子供達は、伊豆地域の魚や海藻が漁業現場から消費者の手元に届くまでの一部を、保護者と一緒に楽しんで体験していました。

また、どなたでも体験できるタッチプールと展示室夜間公開も実施し、約60名の方に御来場いただきました。

今後も、伊豆地域の生き物や漁業を知ってもらえるような内容を企画していきたいと思います。



左：漁業体験で魚を箱詰めする様子 右：タッチプール

9月の予定 ●潜水調査（白浜、稲取ほか） ●キンメダイ種苗生産試験 ●イセエビ漁獲量予測発表（下田、南伊豆） ●イセエビ漁獲物測定（田牛、下流） ●県農林水産統括部長と漁業士との意見交換会（4日）、 ●県立漁業高等学園生研修対応（16日） ●東部地区漁業士と県行政との意見交換会（25日） ●ブリ類資源研究会議（29-30日）

連絡先：静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話：0558-22-0835

アドレス：suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp ホームページ：<https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu>

会場には、自由に見学できる展示施設があります。皆様のお越しをお待ちしています。